

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

国民健康保険に加入の皆さんへ

保険証が九月から「ふじ色」に

みなさんのお手元にある保険証が九月一日から「ふじ色」に変わりました。

このため、病院・診療所等で受診する場合は「ふじ色」の保険証で診療を受けましょう。今までの「はだ色」の保険証は八月三十一日かぎりで使用できなくなりましので、役場町民課までお返し下さい。

◎学生(学)、出稼等(遊)の被保険者証の交付を受けている方は、引き続き交付を必要とする方は改めて申請して下さい。

◎新しい保険証を受けとったら…

新しい保険証を受けとったら、注意事項をよく読んで使用しましょう。

◎届け出は早目に！

世帯主の方は、自分の世帯の被保険者の資格に異動があった場合には必ず十四日以内に届け出るようして下さい。

食中毒防止に 万全を

次のことに留意し食中毒予防に万全を期すよう努めてください。

- 食品の調理に対する注意事項
 - 一、食品の調理にあたっては、「清潔」「迅速」「加熱又は冷却」の食品衛生の三原則を守る。
 - 二、魚介類の調理にあたっては、腸炎ビブリオの食中毒を防ぐため十分に水洗いを行った後に調理すること。
 - 三、食品の調理器具類等(まな板、庖丁、フキン等)は十分に洗浄、殺菌したものを使用すること。
 - 四、冷蔵庫の温度管理を十分に行うこと。また、冷蔵庫を過信しないこと。
 - 五、施設の能力以上の調理は行わないこと。
- 調理食品に対する注意事項
 - 一、調理した食品はなるべく早く食べる。特に会席料理等の家庭への持ち帰りは、避けること。
 - 二、仕出し料理等を注文する場合は、食べる時間を明確にして注文すること。
 - 施設の衛生管理に対する注意事項
 - 一、食品取扱室(営業者にあつては調理室、製造室。一般家庭にあつては台所)は常に清潔に心掛けること。

町民テニス大会 ふるって参加してください お待ちしています!!

- 日時 10月1日(日曜日) 午前8時30分から
- 会場 川口町総合運動公園
- 申込み先 町教育委員会



囲碁将棋 お盆大会結果

総合優勝	関 勝人
総合準優勝	関 和雄
松組 二位	上村 功
松組 三位	星野 建一
竹組 二位	平沢 錦次
竹組 三位	佐藤 信夫
総合優勝	岡村 徹磨
総合準優勝	小宮山忠男
A組 二位	小山 和夫
A組 三位	小林 貞三
B組 二位	古田島淳治
B組 三位	横田 正久

人口	6,457人	平成元年9月1日現在
男	3,152人	
女	3,305人	
世帯数	1,510戸	



成人式

成人を祝いワインで乾杯。
8月14日 サン・ローラ川口で

おもな内容	活力ある農業の地域づくり……………	2~4	「荒屋遺跡」住居跡を発見!……………	10
	川口町のあしたを創造する審議会……………	5	「ふるさと宅配便」順調に……………	11
	二十歳…大人の一步……………	6~8	少年リーダーのつどい……………	12
	人事関係……………	9	スポーツコーナー……………	13

活力ある農業



▲岩平地区ほ場整備(畑) スプリンクラーも整備され、作業能率がアップ。

▼西倉地区農村公園 地区の憩い場として



完成した施設

- 桑巻地区ほ場整備 十六・五ha、道路(四、〇二三m)、水路(五、一四m)、取水(一式)、昭和五十六〜六十年。
- 岩平地区畑地整備 九・〇ha、道路(一、三三〇m)、水路(三、五九三m)、かんがい施設(一式)、昭和六十二〜平成元年。
- 上ノ原揚水機改修 送水管(一四三三m)、上屋及び電気設備、護岸等、昭和五十五〜五十六年。
- 前島用水路改修 延長五五九m、昭和五十五年、五十六年。
- 新田排水路改修 延長四八八m、昭和六十年。
- 原新田排水路改修 延長五二七m、昭和五十九〜六十年。
- 原田用水路改修 延長五一一m、昭和五十六〜昭和六十年。
- 上ノ原農道新設改良舗装 延長六三八m、幅員三・五〜四・五m、昭和六十一〜平成元年。
- 桑巻農道改良舗装 延長一・五一五m、幅員五・六m、昭和五十六〜六十二年。
- 上ノ原農用地造成 六・〇ha、道路(一、一七九m)、パイプライン(一、七六七m) 昭和五十四〜五十五年。
- 集落道寺前線改良舗装 延長一一二m、幅員三・〇〜四・〇m、昭和六十一〜六十二年。
- 集落道裏道線改良舗装 延長一一九m、幅員三・〇〜四・〇m、昭和六十一〜六十二年。
- 西倉集落排水路整備 延長三四六m、昭和六十年。
- 原新田集落排水路整備 延長三五五m、昭和五十四〜五十五年。
- 西倉農村公園造成 公園面積一、〇八〇㎡、昭和五十四〜五十五年。
- 防火水槽新設 中新田一基、西倉一基、昭和六十年。
- 中新田集会所建設 木造二階建、一棟、昭和五十四年。



▲桑巻農道 立派な舗装道路に



▲集落道裏道線 生活道路も舗装に



▲中新田地区集会所 地区のコミュニティ活動の拠点に

の地域づくり



▲原新田地区集落排水路 住環境も整備

▶桑巻地区ほ場整備(田)



2反区画に整備され、美田が完成。

魚野川と信濃川が合流する河岸段丘に、整然と区画された田んぼ(写真左上)と畑(写真右上)が広がる……。ここ西倉地区で、十余年の歳月をかけて行われた農村基盤総合整備事業が、このほど完成しました。

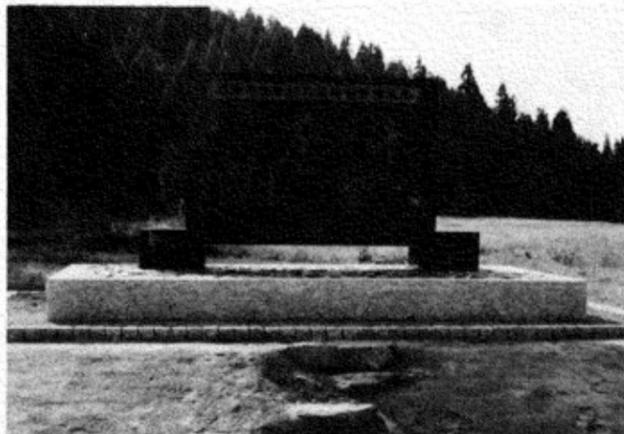
活力ある農業の地域づくりを目指して、西倉地区農村基盤総合整備事業は、昭和五十三年に計画され、国・県補助事業を導入し、同五十四年西倉、原新田、中新田の三区域に着工されたもので、「ほ場」や「畑地」整備、「農用地」造成などの農業生産基盤(十一地区)と「農道」の新設改良や「集落道及び排水路」整備、「防火水槽」「集会所」建設などの生活環境基盤(九地区)による二つの整備が実施された。総工費は五億一千六百万円。これにより、同地区の生産

三区域(西倉・原新田・中新田)で実施
総工費
五億一千六百万円

西倉地区農村基盤総合整備事業が完成

生産基盤と生活環境整備進む

基盤と生活環境づくりが進み、農業振興が一段と図られることになった。これに伴い同事業の完成を祝って八月十八日、記念碑の除幕式と竣工式が盛大に挙行された。



農業の生産性向上と農家経済安定のための「礎」となること願いをこめて、西倉原田地区に建立された立派な記念碑

労苦を贅え

記念碑を建設

記念碑は、畑地整備が行われた西倉岩平地区に建立され、除幕式には青柳町長をはじめ小出農地事務所長、地元関係者など六十余名が参列。幕がとりさられると、青柳町長自筆の「千紫万紅」の彫刻文字が現われ、参列者から大きな拍手が起こり、十余年の歳月をかけて行われた工事の完成を祝うとともに、これまでの地元住民の労苦を贅えた。また、竣工式はサン・ローラ川口で、県関係者をはじめ地元農家の人々など町内外から百二十余名を招いて行われ、同事業の概要報告と事業に労苦された方々に感謝状が贈呈された。

以下、完成した主な施設は次のとおりです。
(年は実施から完成まで)

21世紀を展望したふるさとづくりに向けて

「川口町のあしたを創造する審議会」がスタート



町民の皆さんから行政全般にわたって意見を述べてもらい、来る二十一世紀を展望した独創と創造による町づくりを目的に「川口町のあしたを創造する審議会」が八月一日に発足しました。

会長に
小林 徹さん(川口)

副会長に
鈴木庄栄さん(相川)
桜井マサノさん(田麦山)

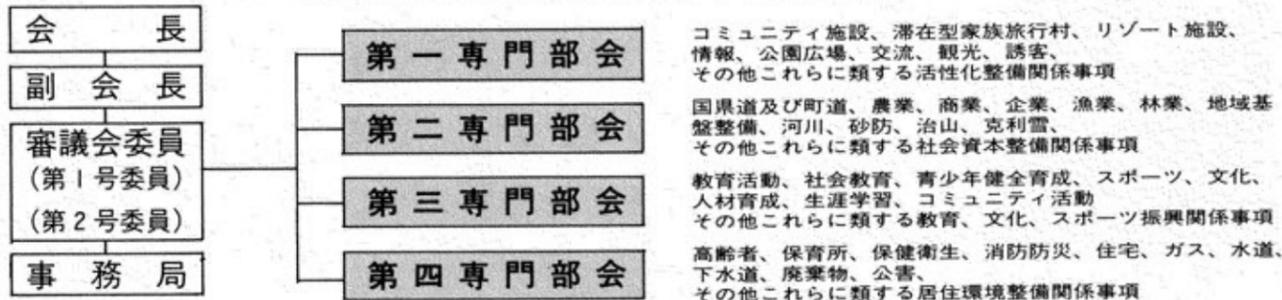
これに伴い、八月十日、二十五日に会合を開き、同審議会に委嘱された各委員の顔あわせと役割、専門部会におけるメンバー編成などを行うとともに、同審議会会長に小林徹さん、同副会長に鈴木庄栄さんと桜井マサノさんが就任。また、各専門部会の正副部長を決め、これにより町長の諮問に答える、これからの町づくりに向けての審議が本格

的に展開されることとなりました。

この日(八月十日)、青柳町長は挨拶の中で、同審議会を「ふるさと創生が話題になっており、一億円をどのように使うかという、たんなるふるさと会ではなく、もっと広範囲な二十一世紀を展望した行政の全てにわたって意見を述べる会にしたい」と位置づけ、加えて、自分たちの町が何を考へ何をしようとしているのか、そして審議会の役割について語った。

また、審議会の役割について、観光や誘客による活性化ばかりでなく、社会資本の整備や教育、文化、福祉などについて、皆さんから積極的に申し出て、自分ならこうする、こうしたいなど、どんどん指適していただき、そして各専門部会における調査、研究の成果について報告を願うとともに、「これからの町づくりは独創性と創造性のある町づくりを進めていかなければならない」と述べ、二十一世紀を展望した町づくりに向けて、同審議会に大きな期待を寄せた。

川口町のあしたを創造する審議会組織表



町民の皆さんの考えを町政に反映

町民の皆さんから行政全般にわたって意見を述べてもらい、来る二十一世紀を展望した独創と創造による町づくりを目的に「川口町のあしたを創造する審議会」が八月一日に発足しました。

この日(八月十日)、青柳町長は挨拶の中で、同審議会を「ふるさと創生が話題になっており、一億円をどのように使うかという、たんなるふるさと会ではなく、もっと広範囲な二十一世紀を展望した行政の全てにわたって意見を述べる会にしたい」と位置づけ、加えて、自分たちの町が何を考へ何をしようとしているのか、そして審議会の役割について語った。

また、審議会の役割について、観光や誘客による活性化ばかりでなく、社会資本の整備や教育、文化、福祉などについて、皆さんから積極的に申し出て、自分ならこうする、こうしたいなど、どんどん指適していただき、そして各専門部会における調査、研究の成果について報告を願うとともに、「これからの町づくりは独創性と創造性のある町づくりを進めていかなければならない」と述べ、二十一世紀を展望した町づくりに向けて、同審議会に大きな期待を寄せた。



関 富雄さん典子さん(夫婦)

今回の完成により、一番うれしいことは、畑にスプリンクラーが整備されたことです。道もなく、畑の形状がわるく、効率が悪かった。これからは機械が入り、労力もういて、経費もかからなくなります。そして仕事がしやすくなって、農業を長く続けられます。



川上清一さん信子さん(夫婦)

基盤整備によって、作業がしやすく、より機械化が進められ、作業効率・効率が上がり仕事の張り合いがもてます。特に畑の区画整理によって、スイカ作りなどの資材にムダがなくなりまし。

これからは、コストのかからないアスパラなど、ソフト野菜づくりに取り組んでいきたいと思っています。

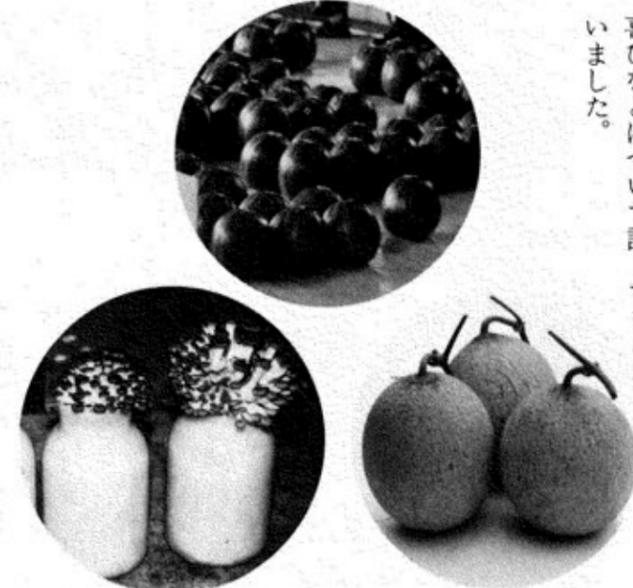


関 二郎さん礼子さん(夫婦)

区画整備されたことによって、機械が畑に入り、作業効率が良くなりました。また、道路の舗装により、家から畑まで土を踏まないで行くことができるようになり、かつては考えられないことでした。これからは土づくりに精をだしていきます。

プロフェッショナル農家の育成

町は、農業経営の体質強化を図るため、これまでに各種補助事業を導入し、農村環境と農村基盤の整備を掲げ、大きく取り組んできています。一方、農業を一つの事業としてとらえ、儲かる農業、家族と幸せに暮らせる農家を目標に、複合営農によるプロフェッショナル農家の育成に取り組んでいます。



そこで今回完成した、西倉地区の農家(写真左)を訪れ、喜びなどについて語ってもらいました。

西倉地区では米づくりと畑作が行われ、スイカ・メロン・キャベツ・キノコ(しめじ)が出荷されています。特に西倉スイカは県外でも好評で、複合営農によるプロフェッショナル農家を目指して取り組んでいます。



山崎 義男(西倉)

お礼と町の営農団地を目指して

この度、西倉地区農村基盤総合整備事業の総合竣工を迎えることができました。これも一重に町当局の暖かい御指導と御配慮、そして関係諸機関並びに各地区関係受益者各位の深い御理解と御協力の賜と心から厚くお礼を申し上げます。

し上げる次第で御座います。かえり見て、同事業は昭和五十三年に計画され、事業種目は二十を数え、関連事業二種目により、西倉地区を中心に、基盤整備を軸とし、環境整備も併せ、十一年間にわたって整備されてきました。この完成により、十年前の西倉地区とは大きな変革をもたらした立派な整備がなされました。これからは、地区民一丸となって、町の代表たる営農団地を目指して、精進致す所存で御座います。



▲成人式 8月14日 サン・ローラ川口

祝成人式

はばたけ青春

はた ち 二十歳大人の一步

若者たちは、そんな時代の流れのなかを立派に成長して二十一世紀へ向けて成人の第一歩を踏みだしたわけですね。式典では、成人を代表して丸山文子さんと中林弘明君の二人が、成人の誓いをのべました。

平成は創造の時代 力強く新しい 人生を

この日青柳町長は、式辞のなかで成人を祝福するとともに、「西倉遺跡」や「荒屋遺跡」という古い文化遺産をもつ川口を誇りに思っ、これからの人生を開拓するよう激励しました。

また、川口町のこれからのあるべき姿や二十一世紀へ向けての町づくりについてふれ、運動公園の再開発を進めて、野外学習のむら生涯学習のむら

原始古代むらをつくって、「滞在型家族旅行村」の建設を目指し、オープンしたファミリールーブルやオートキャンプ場は連日の利用者も多く、今年には新たにクラブハウス、野外音楽堂、大きな芝生広場などの工事が始まっており、中山高原を核とした誘客とその他の活性化は順調に進んでいると話されました。さらに、昭和は進展と繁栄



▲「祝福」と「激励」を送る 青柳町長

の時代であったが、平成の時代は創造の時代と考えられ、二十一世紀の指導者となられる皆さんは、創造性豊かな活力ある人間に成長するよう新しい人生に挑戦してくださいと呼びかけました。

明日の川口町の 発展のために 努力続けたい

成人式に臨み、私達一人一人、心に期する思いは様々でありますが、これからは自分達の立場を自覚し、責任を持った行動をとれるようにしていきたいと思えます。しかし、その為に消極的になることなく、若者の利点である活気に



▲「誓いの言葉」を述べるお二人 中林弘明(川岸)さん、丸山文子(川口6)さん。

満ちた行動と広範囲に視野を広げることにより、社会生活、地域発展を推進していかねばならないものです。今時代は、激動の変革期だと感じています。今までの形式やこだわりなど、マンネリ化したものに対して人々はいやがさしています。これからは、今までにない発想や形式が社会にどんどん受け入れられる時です。こうした時代だからこそ、まだ何にも染っていない私達若者が中心になり、しっかりと真実を見つめながら動かなければいけないと思えます。まだ何も知らない世間知らずの私達ですが、それだからこそ何にも臆すること

なく行動できるのだと思うのです。

町では生涯学習というテーマで活動を進めています。若者も進んで参加出来るようなものなることを期待します。しかし、私達もただ町がしてくれるのを待つのではなく、進んで行動をしなければ

スタートライン



生越千晴さん(川口一)

「人に成る」と書いて「成人」。この二十歳を節目として、小人から大人へと脱皮し、そして「社会」という大きな世界へ飛び立つ号砲が、先日我々にも鳴るのが聞こえた気がする。

「成人式」を迎えてすぐに変わるものなどないと思う。この成人式が、社会という学舎への入学式みたいなものであって、我々はその中の「ピッカピカの一年生」なのだ。これから多くの事を学び取って

いけません。自分から参加してこそ、町に対する意識も高まります。

成人したとはいえず未熟者の私達ですが、町の人達の温かいご支援を受けながら、今後の社会として明日の川口町の発展のために、不断の努力を続けていきたいと思えます。

行く道りのスタート地点に立ったのと同じであり、一歩ずつ確実に自分のペースで学び取って自分を高めて行きたいと思う。

これから先、果てしない道のりを有意義なものにするため、くじけず、責任をもって歩んで行きたいと思う。今回成人式を迎えた八十四名に「乾杯」。

自分自身を 磨く



角張千秋さん(小高)

成人式も終わり、一つの節目である二十歳を迎えました。

今までは、両親に甘え、何も考えず、これといった目標も持たず、好き勝手なことをしていたような気がします。

しかしこれからは、大人の仲間入りというところで、周囲の目が厳しいものになるということを自分自身、自覚しなければならぬと思えます。

これからは、自分の行為に責任をもって、一つ一つ着実にこなして、成長していきたいと思えます。

そして、この二十年間をふり振り返りながら、これから、一人前の大人として認められるように自分自身を磨いていきたいと思えます。

自分の足で 成長を



関美保子さん(上河原)

今日ここに、数多くの仲間と共に成人式を迎えられた事を心からうれしく思います。晴れて「大人になりました」と言ってしまうました。

子供という殻の中で自分に甘えてきた私が今、その殻を破り子供から大人へ前進してゆこうとしています。

社会的にも厳しい目が自分に向けられた事を認識し、一つ一つの行動・発言に責任を持たねばならぬなりました。今すぐに立派な大人という訳にはいきませんが、一歩一歩自分の足で、着実に成長していきたいと思えます。

間違えたり、つまづいたりする事もあると思えますが、そんな時は「七転び八起き」の精神で乗り越えて、素敵な大人になりたいと思えます。

成人式を無事に 終えて今



星野利夫さん(木沢)

わっぱく終わって一番感じた事は、自分も年をとったなあ、と思えました。そこで今日を皮切りに、少々夜遊びを自粛しようと思

ました。もうそろそろ「人生」おちつく頃ですので、四年計画ぐらいで徐々にこの計画を実行していきたいと思えます。

さて、今までの自分の生き方を振り返ってみると、なにも目標、夢さえもなく、ただ、その日その日をなげなく過して来たように思えます。

これからはいくらなんでも今までのようなわけには……。これからは、社会にも一人の人間として見られるわけでもありませんし、自分の行動が即、自分の責任として跳ね返って来ます。それが世間というもので、それに立ち向うためには、やはり一つの目標・夢を持って「ピッカピカの大理石」のような自分「男」を磨きあげていこうと、新たに決意しました。



次ページに続く

新成人 六十七人に聞く

アンケート結果

アンケートは、成人式に出席した六十七人にその場で答えてもらったもので、六十七人中、約七割が町内に、二割の人が東京方面に住んでいます。特に「町の将来についてどのようなになったらよいか」の質問に対して、観光・レジャーの町と答えています。また「町の好きなところ」は緑が多く自然が豊かな、生れ育った所として答えています。

以下アンケートの結果は次のとおりです。

(※数字のあわないのは無回答)

Q1 あなたの性別は
男34人 女33人

Q2 あなたの職業は
会社員54人 公務員1人
自営業2人
家事手伝い 1人
学生9人

Q3 あなたの住んでいる所は
川口町46人 県内4人

県外17人

Q4 将来川口町に住みたいですか(Q3で町外と答えた人)
住むつもり 9人
住みたい 3人
住むことができない 4人
住むつもりはない 5人

Q5 川口町をどのように思いますか
1 好き 31人
2 まあまあ好き 22人
3 どちらでもない 11人
4 嫌い 3人

Q6 川口が好き、きらいの理由は
※(Q5で答えが1,2の人)
緑が多く自然が豊か 15人
住みよい 10人
生れた町、育った町、おちつくから 17人
食物がおいしい 2人
その他 2人

※Q5で答えが4の人
雪が多い 2人
不便 1人

Q7 川口の将来がどのようなになったらよいかと思いませんか
観光、レジャーの町 20人
住宅地として 5人
このままでよい 7人
商工業の発展で働く場を多

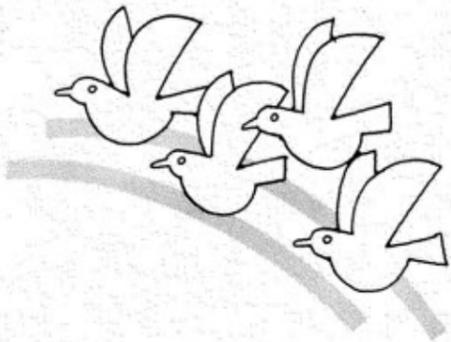
く スポーツの町 4人
その他 2人

Q8 仲間づくりや学習のためのグループや同好会をどう思いますか
必要だ 26人
何かやってみよう 13人
必要と思うができない 16人
どちらでもよい 8人
必要ない 4人

成人おめでとう

いよいよです

今回成人式を迎えられた方は次のとおりです。



平成元年度川口町成人達齢者

●川口中学校卒業生名簿及び住民基本台帳による。(S43.4.2～S44.4.1生まれ)

八郎場	小 林	涉 誠	川口 2	樋 口	美 由	紀 子	荒 屋	渡 小	辺 西	紀 直	子 人	武 道	阿 阿	部 部	章 部	弘 子
上河原	張 正	樹 子	川口 3	中 大	あ 保	み 淳	新 田	山 原	田 敏	直 敏	豊 春	川 相	阿 綱	部 亜	部 希	子 子
"	関 美	利 子	"	目 久	黒 惠	美 美	新 田	山 中	田 雅	裕 正	人 美	川 相	鈴 友	木 野	希 孝	之 裕
"	喜 多	村 雅	川口 4	大 星	野 和	美 志	"	山 中	田 裕	正 祐	明 二	"	友 広	井 井	美 直	和 子
"	喜 多	村 尚	川口 5	阿 渡	部 和	志 子	倉 西	川 本	林 正	裕 祐	幸 一	木 沢	小 星	野 野	美 直	晃 充
長 下	丸 平	津 美	"	渡 関	辺 和	哲 生	岸 川	中 渡	上 間	輝 弘	一 明	"	星 野	野 野	利 光	夫 到
野 田	喜 多	村 悦	川口 6	阿 丸	山 智	文 子	"	渡 小	林 弘	和 寿	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子
"	喜 多	村 一	"	山 山	田 智	知 裕	"	宇 根	渡 西	美 重	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子
中 竹	喜 多	村 弘	川口 7	山 山	田 智	知 裕	島 牛	関 山	根 美	重 重	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子
川 口	喜 多	村 美	相川 1	堀 真	内 島	智 正	ケ 島	小 宇	根 美	重 重	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子
"	喜 多	村 幸	"	堀 真	内 島	智 正	貝 沢	宇 根	根 美	重 重	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子
"	喜 多	村 幸	"	堀 真	内 島	智 正	貝 沢	宇 根	根 美	重 重	子 子	"	星 野	野 野	光 欽	也 子

町議会議員に

丸山聖浄さんが 繰上当選



広井新太郎議員(相川二、六十四歳)辞職に伴う議員の欠員補充で、丸山聖浄さん(牛ヶ島、五十八歳)が繰上げ当選しました。

これは、公職選挙法第百十

二条(議員又は長の欠けた場合の繰上補充)の規定により、丸山氏は、前回行われた町議会議員選挙において、得票数が同点から、くじで当選人とならなかったことを受けて、八月二十三日開かれた選挙会で当選人に決定したものです。なお、任期は次の議員改選期まで。

丸山氏の横顔

- 一、職業 僧侶
- 二、公職及び経歴 町議会議員一期、地区総代理地区館長、公民館運営審議委員、国保運営協議会委員、県青少年育成指導員、泉水小PTA会長

人権よう護委員に 内藤益郎さん



人権よう護委員に内藤益郎さん(川口三、六十一歳)が就任しました。

内藤さんは、前任者の大湖性澄さん(川口一)の後を受けて、今回法務大臣から同委員に委嘱されたものです。町の人権よう護委員は二人で、国民に保障されている基本的な人権にかかわる問題(名誉信用等、いじめ、生活権の侵害など)について相談(無料)を受けます。お気軽にどうぞ。連絡先は

中林孝彰さん ☎(89)二三三四
内藤益郎さん ☎(89)三三三六

9月は「ガン」 征圧月間です

第一回の成人病検診を 四十歳からの習慣にしよう

昭和六十二年に、がんで亡くなった人は十九万九千人を超えました。これは、死亡者全体の二六・六%を占めています。つまり、亡くなった人の四人に一人が、がんによるもので、二分三十八秒に一人の割合で、がんによる犠牲者がでていることになりました。

急激に増えている肺がん

がんの死因の中でも、依然として胃がんが男女のトップを占めています。ここ数年、急激に増えてきているのが肺がんです。肺がんはこれまでイギリスや北欧で多かったのですが、最近、日本でも増加し、男女ともがんによる死因の二番目となりました。

肺がんの第一の原因に挙げられているのは喫煙です。喫煙量が多いほど、また喫煙開始年齢が若いほど、肺がんになりやすいという報告があります。

早期発見・治療が命を守る

肺がんにならないためには、まず日ごろの生活習慣を改めることです。そのためには、喫煙をできるだけ避けることだといわれています。

9月10日は下水道促進デー

下水道 一役買います 町おこし

信濃川と魚野川が合流する地、私たちの町は四季の変化に富んだ美しい自然に恵まれています。

このため、八月号でお知らせしましたように、来年度から工事に着手し、平成七年度末に一部供用開始ができるよう計画をたてています。

下水道は長い年月と多額の経費を要し、みなさんの協力が必要になります。

そのため、その仕組みや内容を理解いただき、下水道の促進にご協力をお願いいたします。

大切な河川の水質を守る



大いなる遺産

川口における旧石器時代の暮しづりが解明か？

昨年の第二次調査につづく第三次の荒屋遺跡発掘調査で、旧石器時代の人が生活したと思われる住居跡が発見され、全国でも初めての貴重な資料として注目されています。

調査の成果を 発表……

この調査は、七月二十日から八月十二日までの日程で、昨年と同様に東北大学名誉教授 芹沢長介氏と同大学考古学研究室 須藤隆教授の指導で、研究生の学生ら十一人の手によって行われ、十一日には、調査の成果の概要が現地説明

「荒屋遺跡」住居跡を発見！



▲丸いのが土坑、直線のところは土層を見るために残した土



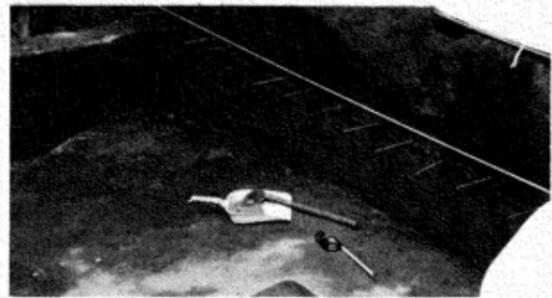
▲各種の土坑があちこちに

会という形で、報道関係者や一般参観人に発表されました。

昨年の調査では、たくさんの彫刻刀や細石刀等の石器類のほか、遺構（過去の人間が土中に残した様々な構造物）の一部が確認されています。今年はこの遺構の全体像を明らかにすることに主眼をおく調査となり、その結果新たな遺構がたくさん発見されました。発表によれば、
① 固い砂を深く掘った穴
② 長径3mの楕円形の穴に砂を敷き、その上で火を使った炉跡状のもの

③ 浅く掘りくぼみの穴に、彫刻刀が何点か入っていたもの

④ 堅穴状の構造で、中央部に炉をもったもの
などの形状の土坑や堅穴状遺構が、八メートル四方の面積の中に十三個も確認されたこと。また、これらの遺構がたがいに重複していることから、同じ場所を何回も利用していたと推定しています。

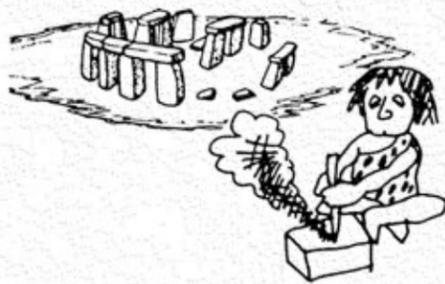


▲堅穴状遺構の約半分が確認された中央部分が炉あと

初めての発見 学術的にも貴重

このように様々な形状を持つ旧石器時代の遺構が折り重

なっているのは全国的に例がなく、また、ひんぱんに火を利用し続けた痕跡のある遺構は、この時代のものとしては初めての発見で、須藤教授は「学術的にも非常に貴重なもの。旧石器時代の人間が一つの場所に、何世代にもわたって定住していたことを示す証拠になる。」と評価しています。これら遺構のうち土坑は貯蔵庫なのかそれともお墓であったのか、そのなぞ解きに興味をもたれるところですが、さらに分析することによって川口における一万二千年以上も前の人の動きや暮らし、集団生活の様子が解明されるのもそう遠くはないと思います。



ふるさと越後の味を あなたに贈ります！！

「ふるさと宅配便」順調に

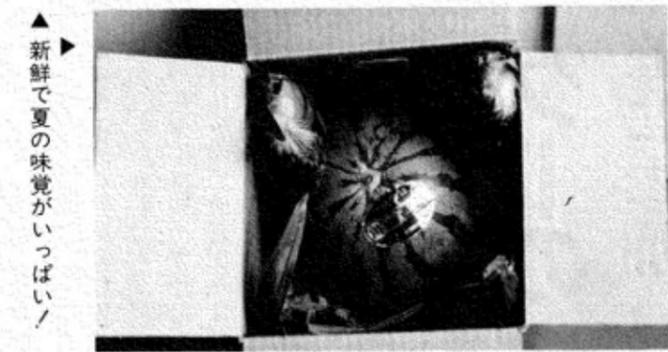
四季折々の、町特産品を都会の人たちに直送する、ふるさと便がスタートして二年目を迎えました。……「ふるさと便の届く日を心待ちにしています……。そんな便りも寄せられ、都会の人たちから喜ばれています。

八月九日、アンデスメロンやトウモロコシ、ジャガイモ、チマキなど、とりたて、つくりたての新鮮で、心のこもったふるさとの味をいっばいに八月便が届けられました。



▲末広荘を出発 八月九日

ふるさと便は、都会の人たちに心ふれあう「ふるさとの味」を届けようと昨年四月、東京川口会をはじめ、ふるさと友好都市「狛江市」や「練馬区」などの皆さんを会員に



▲新鮮で夏の味覚がいっぱい！

今年のメニュー等

◆入会期間別料金

- 4月20日まで 15,000円 (4回直送)
- 7月10日まで 13,000円 (3回直送)
- 10月20日まで 10,000円 (2回直送)
- 1月10日まで 5,000円 (1回直送)

◆特産品

- 5月便 アスパラ、山菜、みそ、鮎のごぶ巻など
- 8月便 メロン、ちまき、ジャガイモ、トウモロコシなど
- 12月便 コシヒカリ、鏡餅、笹だんご、わら細工、みそなぞ
- 2月便 アワもち、花びん(木沢焼)、地酒など

都会からの便り

東京都 田無市 東川静夫さん

立秋とはおぼろげに秋の気配が感じられる頃です。八月十日は前夜祭で三丁介さんにお会いしました。第四回ふるさと便の便りとお知らせをいただきました。相変わらず新鮮なアンデスメロン、トウモロコシ、ジャガイモ、ちまき、チマキ(三丁介)がおいしく、とても嬉しいです。私共は二人とも東京からふるさと便の届く日を心待ちにしています。これからもよろしくお願いいたします。お返事は後日させていただきます。

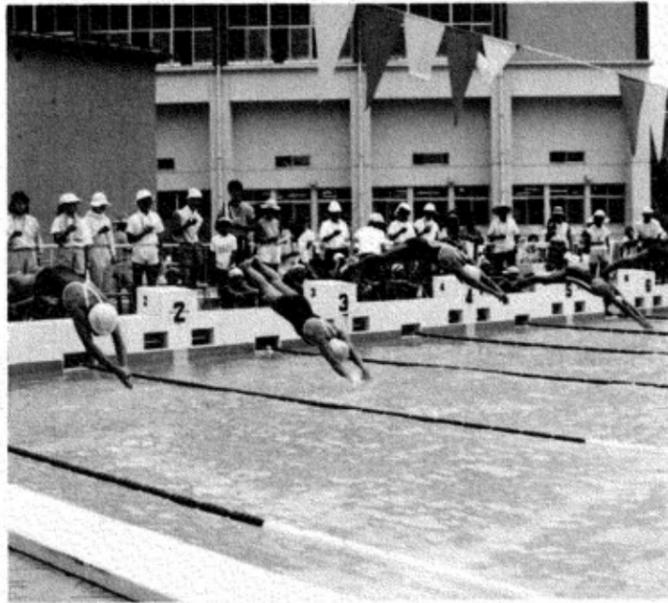
募り、ふるさと友の会を結成しスタート、年四回宅配しています。スタート時より会員も増え続け、会員は現在百七十一名で、これまでに、ふるさと便について、多くの意見や要望が寄せられ、また、喜びの便りや励ましも寄せられるなど、ふるさと便は、皆さんに支えられ順調に育っています。

ます。そして、ふるさと便は、町特産品のピーアールに、地域特産品の開発や地場産業の振興など、地域おこしに一役買っています。皆さんも、都会に住む、親類や知人におすすめて見ませんか。詳しいことは、越後川口ふるさと友の会事務局(川口町役場総務課 八九一三二一)へ。

神奈川県 綾瀬市 樋口千代野さん

昨秋は、おぼろげに秋の気配が感じられる頃です。八月十日は前夜祭で三丁介さんにお会いしました。第四回ふるさと便の便りとお知らせをいただきました。相変わらず新鮮なアンデスメロン、トウモロコシ、ジャガイモ、ちまき、チマキ(三丁介)がおいしく、とても嬉しいです。私共は二人とも東京からふるさと便の届く日を心待ちにしています。これからもよろしくお願いいたします。お返事は後日させていただきます。

スポーツの町宣言



▲「力泳」練習の成果を十分に発揮。川口小プールで

川口勢は、川口小学校を中心にも多くの上位入賞をほたし、個人競技で四種目を、リレー競技は女子メドレーで一位を獲得、八種目で二位につけ特にリレーで善戦するなど、六年生は郡内の上位に位置する力をつけていきました。郡大会の上位入賞者は次のとおり。

◆ 町内大会新記録樹立者

- 個人** 長楽佳子 小林美佐(2回) 樋口 忍(2回)
金沢 司 関 耕二(2回) 石坂聡子 真島 薫 山田義明(以上川口小)
大瀨修治(田麦山小)
- リレー** ・メドレー 女子 川口小A
(小宮山恵美、石坂聡子、小林美佐、佐藤渚)
・自由型 5年女 川口小A
(樋口忍、丸山祥子、関知美、長楽佳子)
・自由型 5年女 田麦山小A
(佐藤千春、山崎理恵、星野菜々子、桜井亜由美)
・自由型 5年男 川口小A
(小宮山昌忠、関一義、広井泰明、星野貴之)
・自由型 6年女 川口小A
(小宮山恵美、佐藤渚、石坂聡子、小林美佐)
・自由型 6年男 川口小A
(金沢司、関耕二、関俊也、関真志)



小学生の水泳大会

町内親善大会と郡大会は川口小を会場に

小学校では夏休み中に町と郡の水泳大会が開かれ、子どもたちはプールの中で水しぶきをあげながら、熱いたかかいにいどみました。

大会新記録が続出 個人で十二
リレーで六つ
町小学校体育連盟の主催で七月二十八日に川口小学校プールで

一ルで行われ、町内各校の五、六年生二百人が七種目の競技に挑戦。
学校対抗リレーは、各学年男女の六レースとも川口小学校チームが一位となり、優勝

カップを手に入れました。注目の新記録は、個人競技で十二、リレーでは五つが更新され、ここ数年は新記録の続出で技術の向上がめだっています。この大会で標準記録をこえた者が、郡大会に出場しました。

郡大会でも善戦健闘 個人四種目とメドレーで一位獲得

郡大会は、郡小学校体育連盟の主催で、八月九日に当町川口小学校プールを会場にして開催されました。

大会には郡内の十八か校から、標準記録を突破した五、六年生の選手五百人余りが参加、当町からは四か校が出場し、地元の意地をみせて健闘してくれました。

◆ 郡大会上位入賞者 (3位まで)

1位	6年男	100m背泳	大瀨修治	田麦山
	6年女	100m平泳	石坂聡子	川口
	"	100m背泳	小宮山恵美	"
	"	50mバタフライ	小林美佐	"
	"	200mメドレーリレー	川口小学校	"
2位	6年男	100m自由型	金沢 司	川口
	"	100m背泳	山田義明	"
	"	200m個人メドレー	"	"
	"	200m自由型リレー	川口小学校	"
	"	200mメドレーリレー	"	"
	6年女	50m自由型	佐藤 渚	"
	"	200m自由型リレー	川口小学校	"
	5年男	50m平泳	前沢孝一	泉 水
3位	6年男	50m自由型	大瀨修治	田麦山
	"	50m背泳	関 俊也	川口
	6年女	100m自由型	小宮山恵美	"
	5年男	100m背泳	河上哲平	"
	5年女	100m背泳	真島 薫	"
	"	50m背泳	喜多村千晴	"

少年リーダーのつどい

野外研修に参加



▲青い海 みんなで地引網を引く



▲キャンプファイヤー 女神には川口の子どもが選ばれた



▲野外炊飯のはしと竹ぐしづくり

川口小学校の子ども会代表が、夏と自然と友だちとをテーマにした少年団体リーダーのつどいに参加し、県内各地の子どもたちとの交歓活動で新しい体験を重ねました。

ねらいは
連帯と野外活動技術
このつどいは、県教育委員会が主催したもので、子ども会など少年団体の小学生を対象に、交歓活動を通じて理解と連帯を深めることと、野外活動の初歩的な知識や技術の研修をねらいとして、北蒲中条町の県少年自然の家で七月二十七日から二泊三日の日程で行われたもの。

つどいには、県内の小学校五、六年生百八十人。当町からは川口小学校若竹児童会の五年生五人と引率指導の先生が参加しました。

地引き網などを 初体験

参加した子どもたちは野外炊飯、キャンプファイヤー、テント泊、海辺での地引き網などの初めての体験や共同生活のもよみを、楽しそうに報告してくれました。

町教育委員会では、こうした研修には積極的に参加させる考えで、このあと北海道で

川口小 若竹児童会



の中学生海のつどいにも参加が決まっています。今回のつどい参加者は次のとおり。

川口小学校若竹児童会
覚張浩亨 服部一馬
黒島美和 星野和恵
星野美弥子
引率 松本美和子先生

初心者 パソコン講座

内容
初めてパーソナルコンピュータを使用する人を対象に、基本操作、プログラムの作成方法等の実践

場所
小千谷西高校 電子科

日時
十月九日から月末まで
毎週月、水、金曜日の三回
夜六時半から九時半

定員 十八歳以上 四十名

費用
テキスト代等 二千元

応募
郵便ハガキに住所・郵便番号・氏名・性別・年令・職業・電話番号を記入

申込先
〒九四七
小千谷市城内三三三十一
県立小千谷西高等学校
パソコン講座係宛
電話 八二四三三五

〆切り 九月二十五日
この講座は、県教育委員会社会教育課の高校開放講座の一つです。

川口町教育委員会